

# 平成20年三重県消費者物価指数の動向

## 1 概 要

三重県…平成20年平均の三重県消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で102.4となり、前年に比べ1.6%の上昇でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は102.5で、前年に比べ1.8%の上昇でした。

全 国…平成20年平均の全国消費者物価指数は、平成17年を100とした総合指数で101.7となり、前年に比べ1.4%の上昇でした。

また、持家の帰属家賃を除く総合指数は102.0で、前年に比べ1.6%の上昇でした。

平成15年からの三重県消費者物価指数の動きを総合指数でみると、平成17年を除き毎年上昇しています。

総合指数の全国平均との比較では、平成15年から平成16年までは三重県が下回りましたが、平成17年、18年で同指数に、また、平成19年からは全国平均を上回っています。(図1、表1、統計表第1表)

図1 消費者物価指数及び対前年上昇率

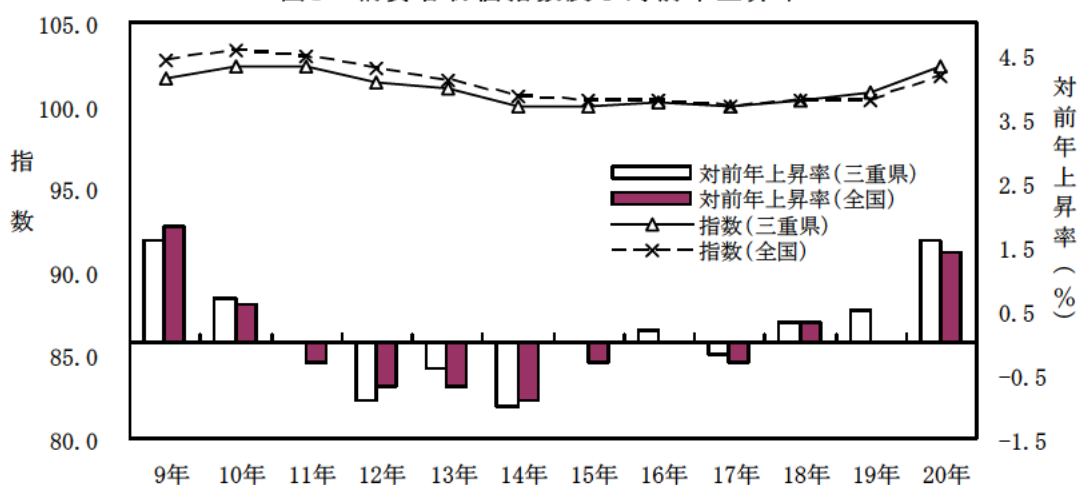


表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成17年 = 100

	三重県				全国					三重県				全国			
	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)		総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)	総合	対前年上昇率(%)	総合(※)	対前年上昇率(%)
平成7年	99.9	1.6	101.1	0.4	100.7	-0.1	101.8	-0.3	平成14年	100.0	-1.0	100.4	-1.0	100.6	-0.9	100.7	-1.1
平成8年	100.0	0.1	101.0	-0.1	100.8	0.1	101.8	0.0	平成15年	100.0	0.0	100.2	-0.2	100.3	-0.3	100.4	-0.3
平成9年	101.6	1.6	102.5	1.4	102.7	1.8	103.4	1.6	平成16年	100.2	0.2	100.2	0.0	100.3	0.0	100.4	0.0
平成10年	102.3	0.7	103.4	0.9	103.3	0.6	104.1	0.7	平成17年	100.0	-0.2	100.0	-0.2	100.0	-0.3	100.0	-0.4
平成11年	102.3	0.0	103.1	-0.3	103.0	-0.3	103.7	-0.4	平成18年	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3	100.3	0.3
平成12年	101.4	-0.9	102.1	-0.9	102.2	-0.7	102.8	-0.9	平成19年	100.8	0.5	100.7	0.4	100.3	0.0	100.4	0.1
平成13年	101.0	-0.4	101.4	-0.7	101.5	-0.7	101.8	-0.9	平成20年	102.4	1.6	102.5	1.8	101.7	1.4	102.0	1.6

※ 持家の帰属家賃を除く総合

## 2 年間の動き

平成20年の月別の三重県消費者物価指数の動きを総合指数で見ると、9月までは概ね上昇傾向にありましたが、10月から12月の3ヶ月間は下落しました。

また、対前年同月上昇率では、各月とも光熱・水道、教育が上昇したことなどから、すべての月で上昇となりました。(図2、表2、統計表第1表)

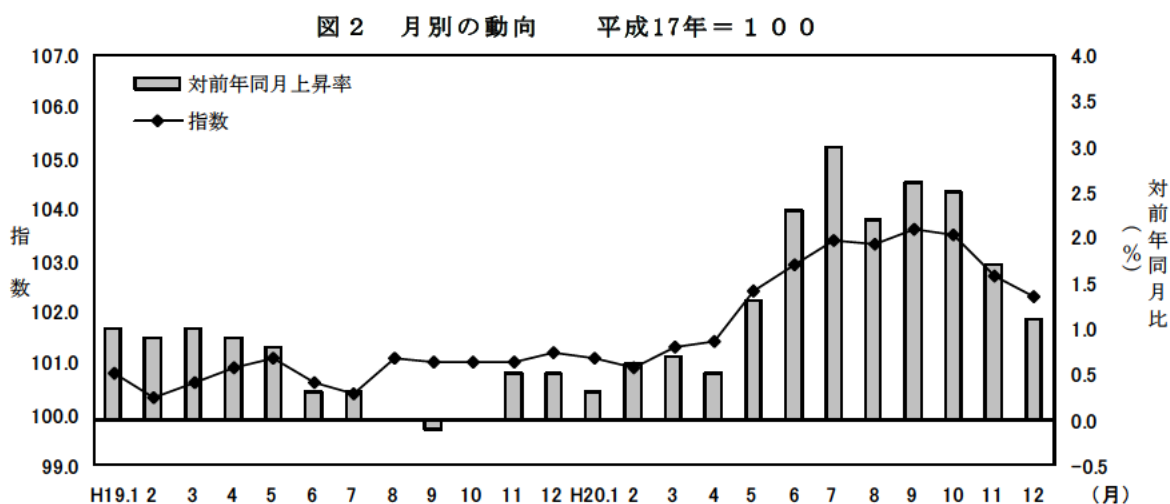


表2 対前年同月上昇率及び  
三重県総合指数対前年同月上昇率に対する寄与度

対前年同月上昇率…単位:%

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
対前年同月上昇率	総合	三重県	0.3	0.6	0.7	0.5	1.3	2.3	3.0	2.2	2.6	2.5	1.7	1.1
		全国	0.7	1.0	1.2	0.8	1.3	2.0	2.3	2.1	2.1	1.7	1.0	0.4
	持家の掃 属家賃を 除く総合	三重県	0.5	0.8	0.9	0.8	1.8	2.6	3.4	2.5	2.8	2.7	1.7	1.1
		全国	0.9	1.1	1.3	1.0	1.5	2.3	2.8	2.5	2.4	2.1	1.2	0.4
三重県総合指数対 前年同月上昇率に 対する寄与度(中分 類で寄与度の大きい もの)	自動車等 関係費	0.50	0.54	0.58	-0.20	0.35	0.55	0.72	0.63	0.53	0.20	-0.41	-0.93	
	ガス代	0.11	0.11	0.09	0.13	0.17	0.17	0.21	0.21	0.20	0.21	0.20	0.20	
	穀類	0.09	0.06	0.13	0.14	0.11	0.18	0.23	0.15	0.16	0.18	0.22	0.21	
	電気代	0.05	0.05	0.05	0.09	0.09	0.09	0.18	0.17	0.18	0.25	0.25	0.25	

### 3 費目別指数の動き

平成20年平均の三重県消費者物価指数を10大費目別に前年と比較すると、食料、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、諸雑費が上昇し、教養娯楽が下落しました。(図3、表3)

#### (1) 食料

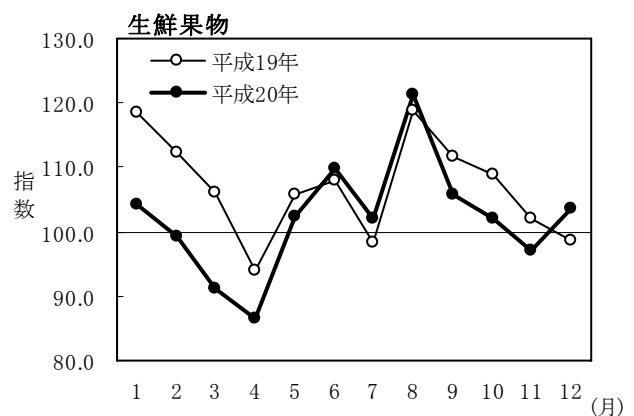
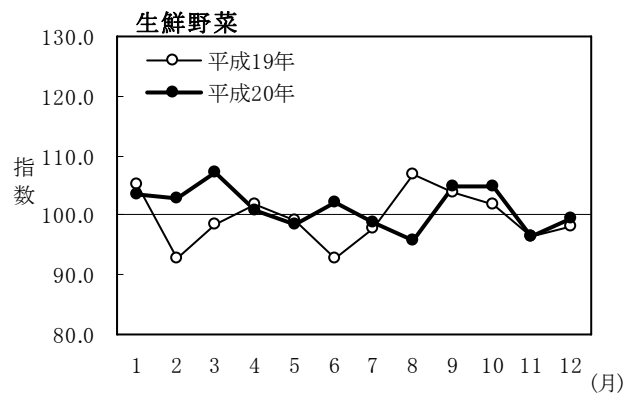
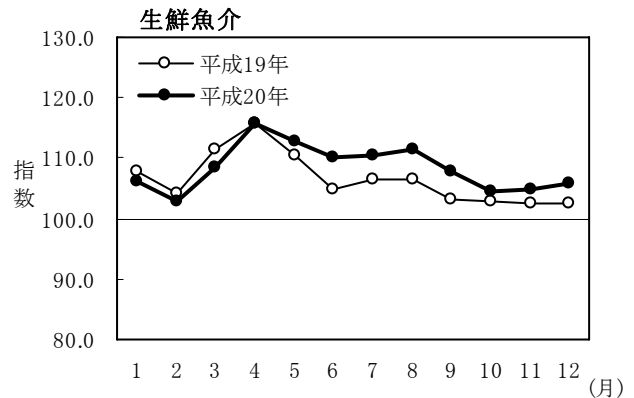
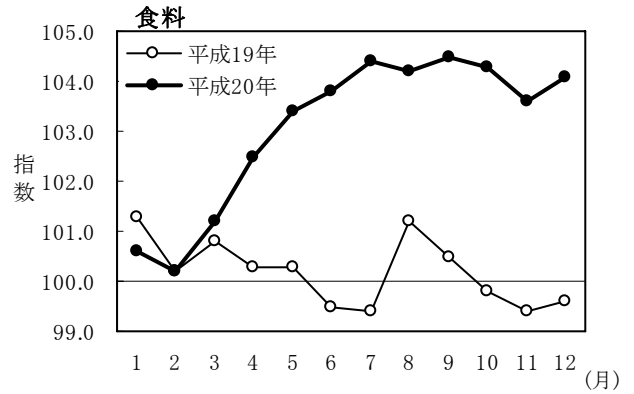
食料は 103.1 となり、前年に比べ 2.9%の上昇でした。

変化の内訳をみると、前年に比べ上昇したのは、乳卵類が 8.9%、穀類が 7.3%、菓子類が 4.8%、油脂・調味料が 4.4%などでした。

一方、下落したのは、果物が 4.2%、飲料が 1.1%でした。

生鮮食品についてみると、

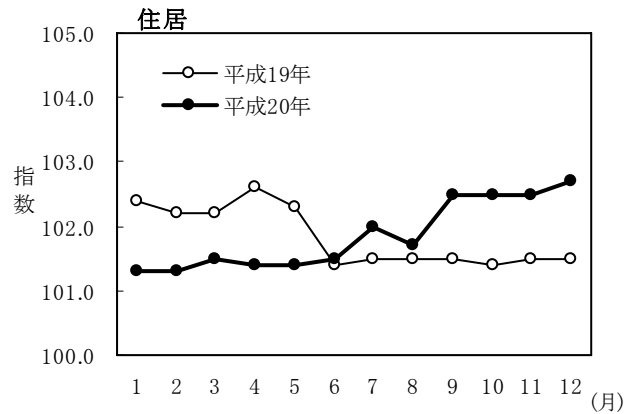
- ・ 生鮮魚介は、108.5 となり、対前年比は 1.9%の上昇でした。各月とも平成17年の平均水準である100を上回りました。
- ・ 生鮮野菜は、101.2 となり、対前年比は 1.6%の上昇でした。
- ・ 生鮮果物は、102.1 となり、対前年比は 4.5%の下落でした。



## (2) 住居

住居は 101.9 となり、前年に比べ 0.1%の上昇でした。

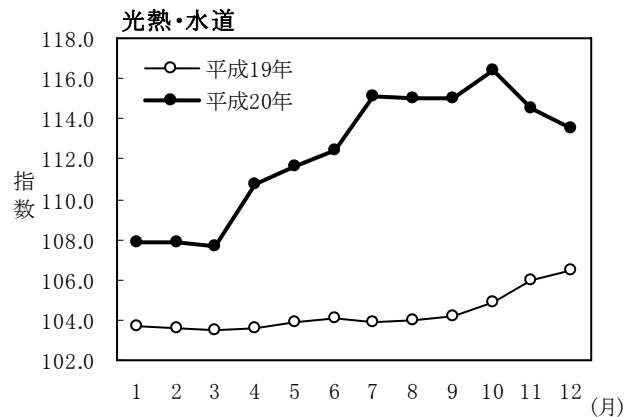
内訳をみると、家賃が 0.1%、設備修繕・維持が 0.1%の上昇でした。



## (3) 光熱・水道

光熱・水道は 112.3 となり、前年に比べ 7.7%の上昇でした。

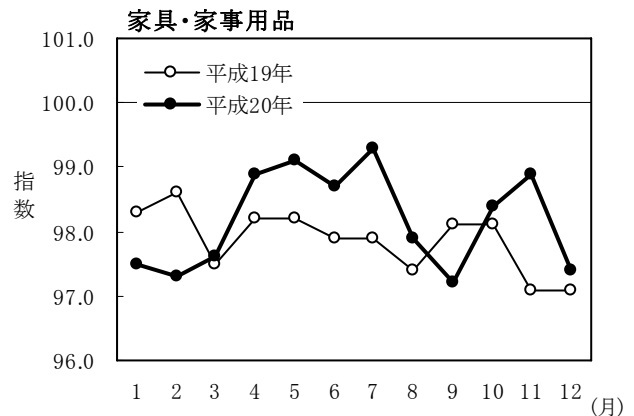
内訳をみると、他の光熱（灯油）が 28.8%、ガス代が 8.3%、上下水道が 6.3%、電気代が 4.6%の上昇でした。



## (4) 家具・家事用品

家具・家事用品は 98.2 となり、前年に比べ 0.3%の上昇でした。

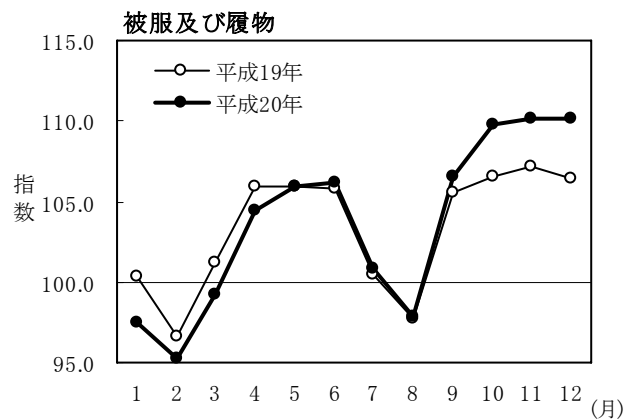
内訳をみると、家事サービスが 6.7%、家事用消耗品が 2.4%、寝具類が 1.5%、家事雑貨が 0.3%の上昇、室内装備品が 2.4%、家庭用耐久財が 2.3%の下落でした。



## (5) 被服及び履物

被服及び履物は 103.7 となり、前年に比べ 0.4%の上昇でした。

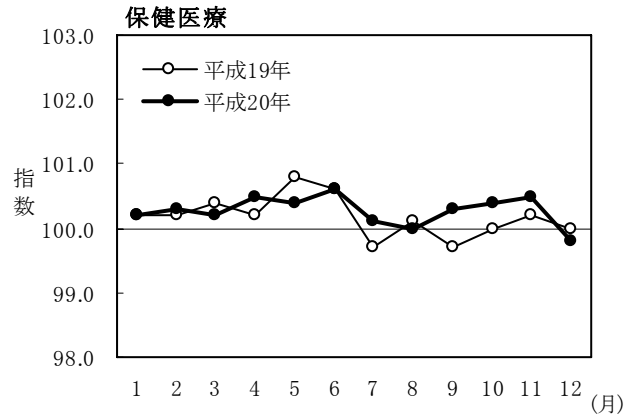
内訳をみると、被服関連サービスが 3.3%、履物類が 2.0%、シャツ・セーター・下着類が 0.6%の上昇、他の被服類が 1.8%、衣料が 0.1%の下落でした。



## (6) 保健医療

保健医療は 100.3 で、前年に比べ 0.1%の上昇でした。

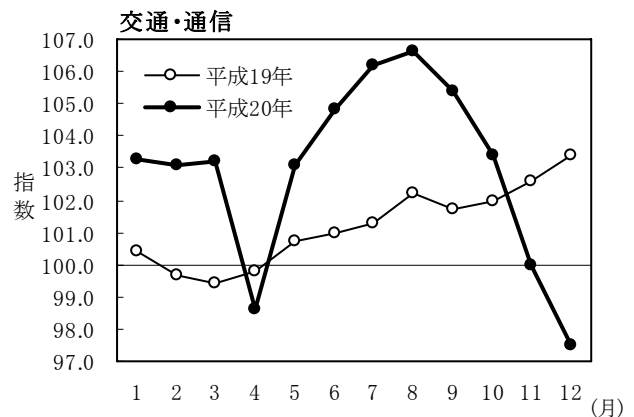
内訳をみると、保健医療サービスが 0.9%の上昇、保健医療用品・器具が 1.0%、医薬品・健康保持用摂取品が 0.9%の下落でした。



## (7) 交通・通信

交通・通信は 102.9 となり、前年に比べ 1.7%の上昇でした。

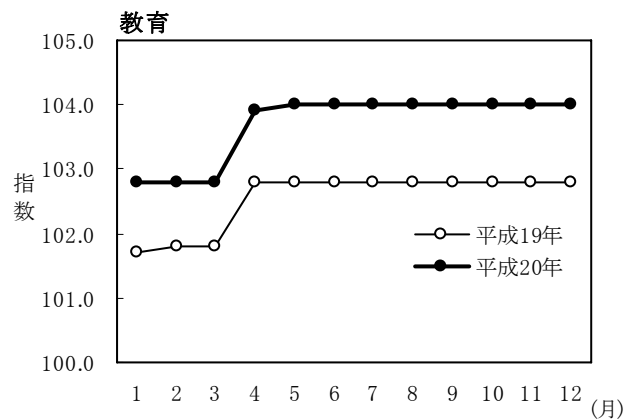
内訳をみると、自動車等関係費が 2.5%、通信が 0.3%、交通が 0.1%の上昇でした。



## (8) 教育

教育は 103.7 となり、前年に比べ 1.2%の上昇でした。

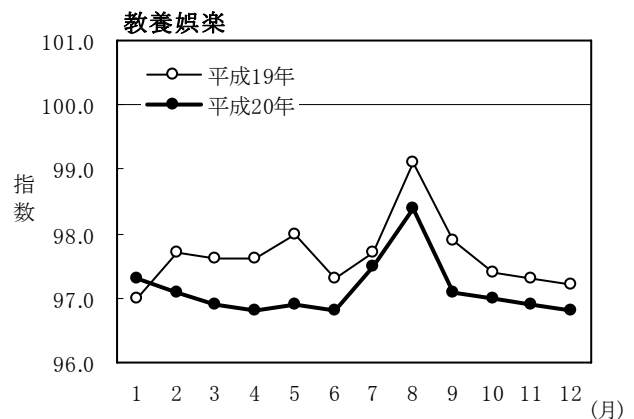
内訳をみると、授業料等が 1.2%、補習教育が 1.1%、教科書・学習参考教材が 0.2%の上昇でした。



## (9) 教養娯楽

教養娯楽は 97.1 となり、前年に比べ 0.6%の下落でした。

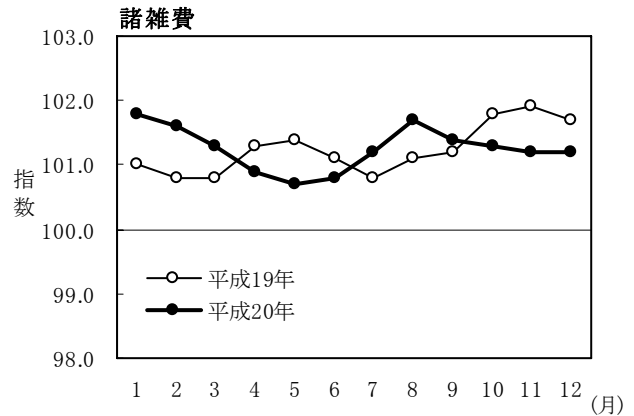
内訳をみると、教養娯楽用耐久財が 18.4%の下落、教養娯楽用品が 1.4%、教養娯楽サービスが 0.6%、書籍・他の印刷物が 0.2%の上昇でした。



## (10) 諸雑費

諸雑費は 101.3 となり、前年に比べ 0.1%の上昇でした。

内訳をみると、身の回り用品が 3.4%、理美容サービスが 0.4%、たばこが 0.1%の上昇、理美容用品が 1.8%、他の諸雑費が 0.2%の下落でした。



## 4 各費目の総合指数に対する影響(寄与度、寄与率)

寄与度とは、その費目が消費者物価指数をどれだけ上下動させたかを示すもので各費目の合計が総合指数の上昇率と同じになるものです。

また、寄与率とは、総合の上昇率に占める各費目の上昇率の割合を 100分比（各費目の上昇率÷総合の上昇率×100）で表すものです。

平成20年三重県消費者物価指数は、総合指数で見ると前年に比べ 1.6%の上昇でした。

総合に影響を及ぼした度合（寄与度）を主な中分類別費目でみると、物価を押し上げる方向に働いた費目として、交通・通信の自動車等関係費（0.26）や光熱・水道のガス代（0.17）、食料の穀類（0.16）、光熱・水道の電気代（0.14）などが挙げられます。一方、物価を引き下げる方向に働いた費目として、教養娯楽の教養娯楽用耐久財（-0.12）、食料の果物（-0.05）などが挙げられます。各費目の合計の結果、全体の寄与度は 1.60（＝総合指数の上昇率が 1.6%）となりました。

（表 3、図 4）

図3 費目別対前年上昇率(%)

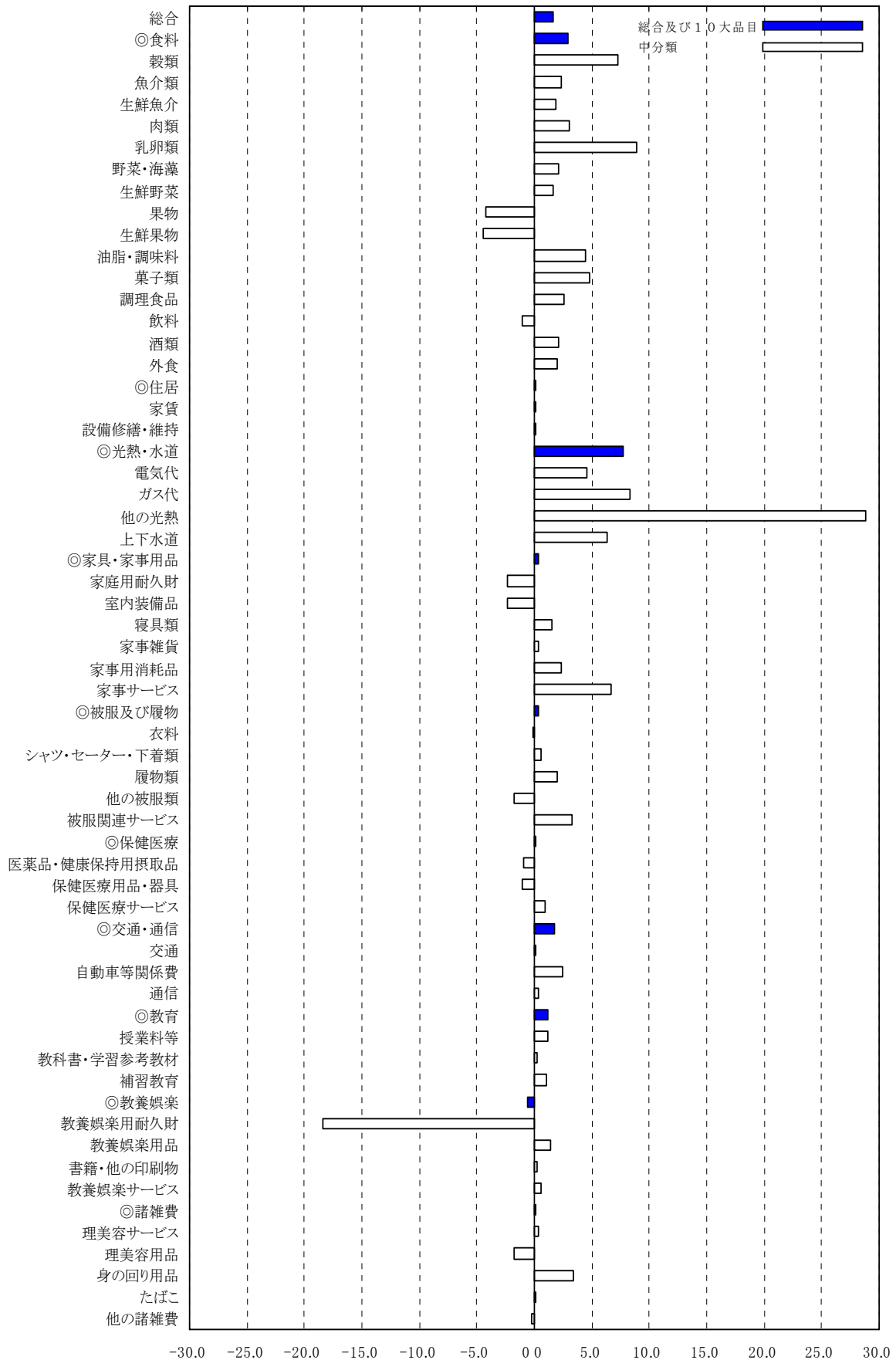


表3 4市平均中分類指数・寄与度・寄与率

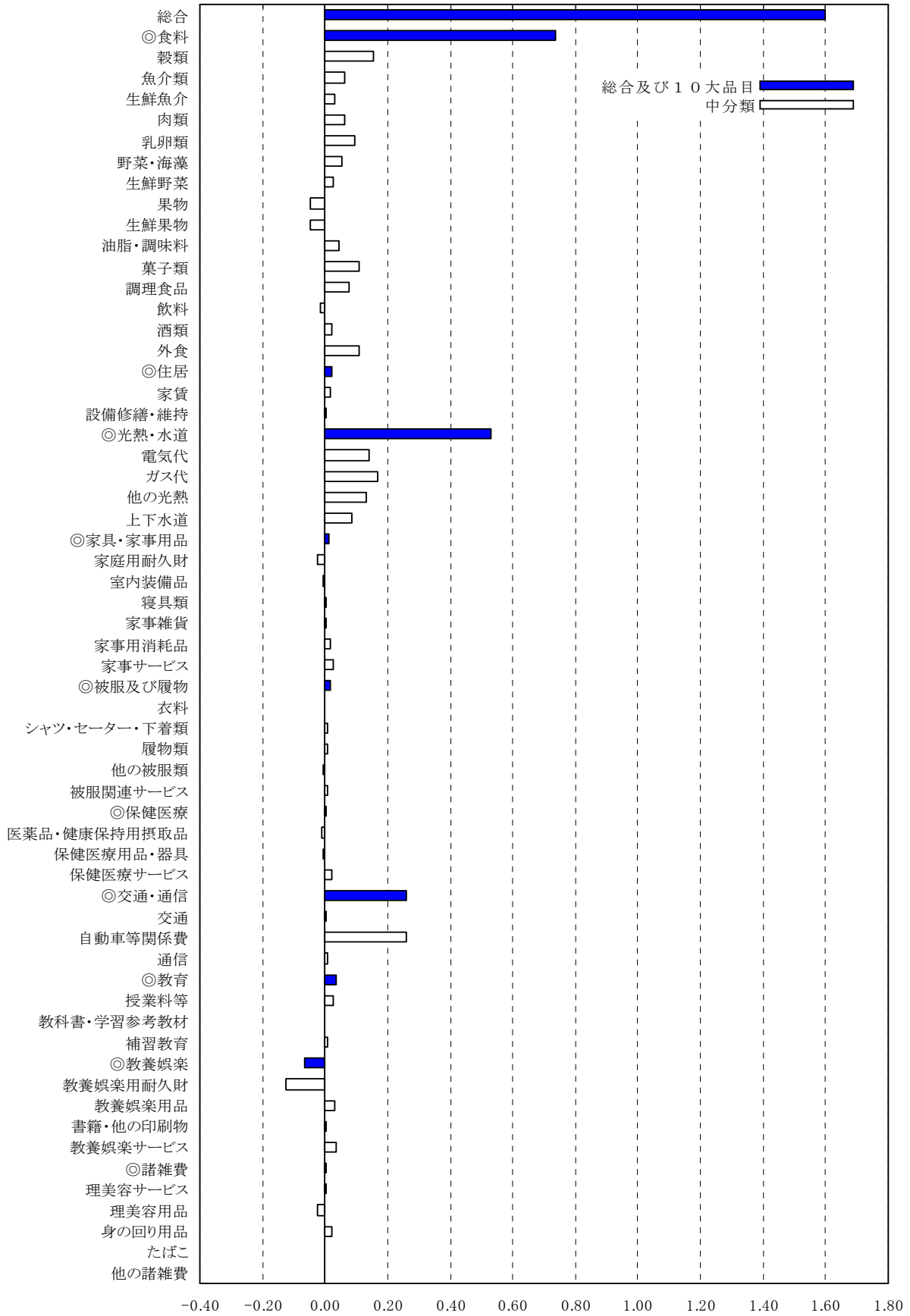
指数：平成17年平均＝100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率(%)
	平成19年 平均	平成20年 平均	平成19年 平均	平成20年 平均	平成20年 平均	平成20年 平均
総 合	100.8	102.4	0.5	1.6	1.60	100.0
持家の帰属家賃を除く総合	100.7	102.5	0.4	1.8	1.52	95.3
食 料	100.2	103.1	0.0	2.9	0.74	46.0
穀 類	98.8	106.0	-1.1	7.3	0.16	9.7
魚 介 類	104.0	106.5	1.9	2.4	0.06	3.9
生 鮮 魚 介	106.5	108.5	3.1	1.9	0.03	1.9
肉 類	101.9	105.0	2.4	3.0	0.06	4.0
乳 卵 類	96.8	105.4	1.1	8.9	0.10	6.0
野 菜 ・ 海 藻	100.0	102.1	-1.6	2.1	0.05	3.3
生 鮮 野 菜	99.6	101.2	-2.4	1.6	0.02	1.5
果 物	106.2	101.7	3.1	-4.2	-0.05	-2.9
生 鮮 果 物	106.9	102.1	3.5	-4.5	-0.05	-3.0
油 脂 ・ 調 味 料	98.1	102.4	-1.0	4.4	0.04	2.7
菓 子 類	99.3	104.1	-0.1	4.8	0.11	6.7
調 理 食 品	100.0	102.6	-2.0	2.6	0.08	4.7
飲 料	97.9	96.8	-1.2	-1.1	-0.02	-0.9
酒 類	96.1	98.1	-0.6	2.1	0.02	1.3
外 食	100.4	102.4	0.3	2.0	0.11	6.7
住 居	101.8	101.9	1.7	0.1	0.02	1.2
持家の帰属家賃を除く住居	101.5	101.2	1.8	-0.3	-0.02	-1.0
家 賃	101.7	101.8	1.5	0.1	0.02	1.0
持家の帰属家賃を除く家賃	99.4	98.7	-0.4	-0.7	-0.01	-0.6
設 備 修 繕 ・ 維 持	102.3	102.4	2.6	0.1	0.00	0.2
光 熱 ・ 水 道	104.3	112.3	1.1	7.7	0.53	33.2
電 気 代	102.4	107.1	1.1	4.6	0.14	8.9
ガ ス 代	107.9	116.9	2.4	8.3	0.17	10.5
他 の 光 熱	122.5	157.8	-0.6	28.8	0.13	8.3
上 下 水 道	98.8	105.0	0.0	6.3	0.08	5.3
家 具 ・ 家 事 用 品	97.9	98.2	-1.2	0.3	0.01	0.6
家 庭 用 耐 久 財	90.9	88.8	-5.4	-2.3	-0.02	-1.5
室 内 装 備 品	100.1	97.7	0.1	-2.4	-0.01	-0.4
寝 具 類	101.1	102.6	-0.6	1.5	0.00	0.3
家 事 雑 貨	102.6	102.9	1.0	0.3	0.00	0.1
家 事 用 消 耗 品	102.2	104.7	2.3	2.4	0.02	1.0
家 事 サ ー ビ ス	99.8	106.5	-0.2	6.7	0.03	1.6
被 服 及 び 履 物	103.3	103.7	1.7	0.4	0.02	1.2
衣 料	105.7	105.6	2.1	-0.1	-0.00	-0.1
シャツ・セーター・下着類	102.0	102.6	2.3	0.6	0.01	0.5
履 物 類	100.9	102.9	-0.7	2.0	0.01	0.6
他 の 被 服 類	99.8	98.0	0.3	-1.8	-0.01	-0.4
被 服 関 連 サ ー ビ ス	100.8	104.1	0.4	3.3	0.01	0.6
保 健 医 療	100.2	100.3	0.2	0.1	0.00	0.3
医 薬 品 ・ 健 康 保 持 用 撰 取 品	97.7	96.8	-2.2	-0.9	-0.01	-0.8
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	100.9	99.9	-0.5	-1.0	-0.01	-0.5
保 健 医 療 サ ー ビ ス	101.4	102.3	1.7	0.9	0.02	1.5
交 通 ・ 通 信	101.2	102.9	0.4	1.7	0.26	16.4
交 通	99.9	100.0	0.0	0.1	0.00	0.1
自 動 車 等 関 係 費	103.8	106.4	1.3	2.5	0.26	16.2
通 信	94.4	94.7	-2.0	0.3	0.01	0.6
教 育	102.5	103.7	1.2	1.2	0.04	2.3
授 業 料 等	102.8	104.0	1.0	1.2	0.03	1.8
教 科 書 ・ 学 習 参 考 教 材	102.3	102.5	1.8	0.2	0.00	0.0
補 習 教 育	101.9	103.0	1.9	1.1	0.01	0.5
教 養 娛 楽	97.7	97.1	-0.7	-0.6	-0.06	-4.0
教 養 娛 楽 用 耐 久 財	65.2	53.2	-19.8	-18.4	-0.12	-7.7
教 養 娛 楽 用 品	100.8	102.2	2.2	1.4	0.03	2.0
書 籍 ・ 他 の 印 刷 物	101.7	101.9	0.3	0.2	0.00	0.2
教 養 娛 楽 サ ー ビ ス	101.1	101.7	0.6	0.6	0.03	2.2
諸 雑 費	101.2	101.3	1.0	0.1	0.01	0.3
理 美 容 サ ー ビ ス	101.9	102.3	1.2	0.4	0.01	0.3
理 美 容 用 品	97.7	95.9	-0.8	-1.8	-0.02	-1.5
身 の 回 り 用 品	106.5	110.1	2.0	3.4	0.02	1.4
た ば こ	109.1	109.2	4.3	0.1	0.00	0.0
他 の 諸 雑 費	98.6	98.4	0.4	-0.2	-0.00	-0.2

注・寄与度の数値は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。



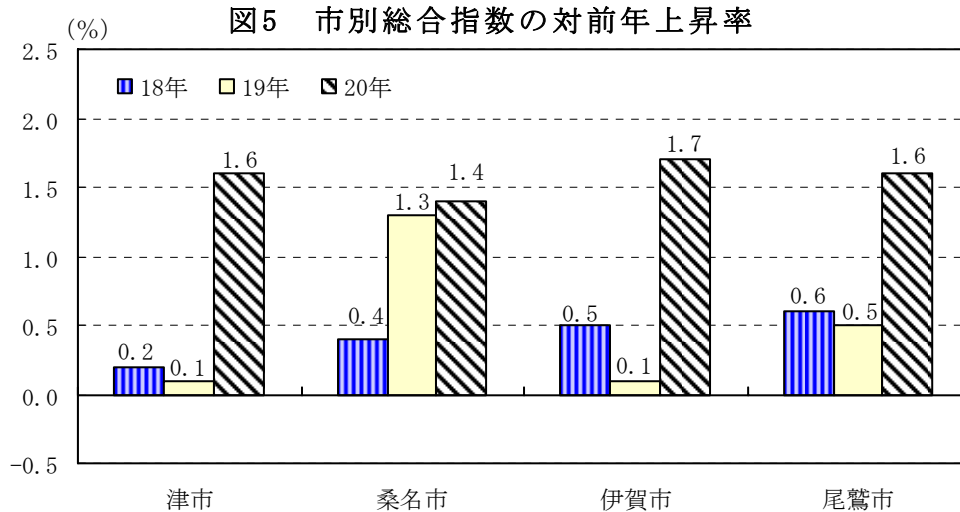
図4 消費者物価指数の対前年上昇率に対する寄与度



## 5 各市の動き

県内4市の消費者物価指数の動きを対前年上昇率で見ると、津市（\*）で1.6%、桑名市（\*）で1.4%、伊賀市（\*）で1.7%、尾鷲市で1.6%の上昇でした。

（図5、表4）



（内訳）

4市ともに食料、光熱・水道、交通・通信、教育が上昇しました。

市別にみると、津市（\*）では、光熱・水道が8.5%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。

桑名市（\*）では、住居が0.2%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。

伊賀市（\*）では、食料が3.8%の上昇、教育が1.5%の上昇、保健医療が1.1%の上昇、諸雑費が0.6%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。

尾鷲市では、家具・家事用品が1.7%の上昇で4市中最大の上昇幅となっています。また、保健医療が1.2%の下落、被服及び履物が0.8%の下落で4市中最大の下落幅となっています。

表4 都市別10大費目別対前年上昇率

（単位：%）

	総合	除持家 の帰属家賃 を合	食料	住居	光熱 ・水道	家具 ・家事用品	被服 及び履物	保健 医療	交通 ・通信	教育	教養 娯楽	諸 雑費
津市	1.6	1.8	2.8	0.0	8.5	0.6	1.1	-0.1	1.8	1.0	-0.6	0.0
桑名市	1.4	1.8	2.5	0.2	6.6	0.6	-0.4	0.3	1.8	1.2	-0.5	-0.3
伊賀市	1.7	1.9	3.8	-0.3	7.9	-1.8	-0.1	1.1	1.6	1.5	-0.6	0.6
尾鷲市	1.6	1.9	3.0	0.0	6.1	1.7	-0.8	-1.2	1.7	1.1	0.4	0.3

※（\*）については、市町村合併前の旧市地域での調査